南アルプス市 平成 24 年度

## 事務事業マネジメントシート

用アルノス	中 平原	λ 24	年度 (	兼)予算編成	ﯘ≱・実施	計画資料	作成日 H	25	<b>年</b> 3	月	21 日作	成
			消防協会支部道	正 軍営費交付金事業 □ 実施計画事業		所属部局	消防本部		単位番号		13067	
事務事業名						所属課室 所属担当	消防課 地域消		課長名 担当者名		芦沢俊一 森本浩人	
44 1 -1 44	++	I					会計 名称			目	細目	細々目
基本政策	本	1	情報と連携の都	市づくり		予算科目	01 一船	ž 09	9 01	02	030	16
政 策	画	06	安全な環境づくり	)		事業区分	□ 国の制度に	こよる義和	<b>务的事業</b>	□ 補		事業
施策	体系	80	防災体制の充実			<b>子</b> 木匹刀	<ul><li>□ 市の制度は</li><li>□ 義務化され</li></ul>					業
事業期間 □ 単年度のみ ☑ 単年度繰返				区(開始年度	15 年度)	法令根拠 消防組織法、消防法						
務 消防協会南 事 れ市からの交 業 いる。事業のP	期間で アルプス支 付金収入で 内容①南ア するために ている。	<b>定複数</b> (部は、山 で運営して アルプス支	複数年度 (    「展事業は次年度以   「乗展事業は次年度以   「製具消防協会の下でいる。この事業を南でいる。この事業を南でいるとしての各種事業   「事項、支部の経理、」	部組織で、消防団員 アルプス支部事務 き、②支部表彰に関	員729人で構成さ 局として支援して すること、③その	事業費の主 項目(細値 講師謝礼 消耗品費 食料費 交付金	(24 (	1年度 千円) 28 10 60 470	決算見込 項目(	細節)	金額	<b>〔千円〕</b> 568
(1) 事務事業の		標										
① 活動	支部	演習の宝	施また支部功労者等	英書	一会参加激励	<ul> <li>⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しる名称</li> <li>単位</li> <li>アシフトボール大会参加者数</li> </ul>						入しない ナ
24年度活動実	績	K H V/X		于 <b>公</b> 勒C、州来四八		<b>ナ</b> アジ	プトボール大会	*************************************	数		人	
25年度活動予	定	演習の実	施また支部功労者等	等表彰と、県操法大	:会参加激励	イ:一学:	章者 修会参加者数				<u>人</u>	
② 対象(この事	務事業に	は誰、何る	を対象にしているの	のか) * 人や自然	資源等		象指標(対象σ 名 名		表す指標)	数字に	は記入しな	い
<ul><li>消防団</li></ul>						マ: 渋	<b>名</b> 坊分団数	称			単位	<u>ታ</u>
・消防団員						イ消	577 回				人	
③ 意図(この事)	8事業によ	り対象を	どのような状態にし	ていくのか、どのよ	うに変えるのか)	ウ <mark>⑦ 成</mark>	果指標(対象に	おける意図	図の達成度を	を表す扌	指標)数字は	は記入しな
<ul><li>消防に必要な知</li></ul>					••••••	<b>7</b> intitle√	果 <u>指標(対象に</u> 名	称	・編都) や 海吐田 間 小部	ı.	単位 %	
・安心して消防団			200			<b>→</b> イ 福利	享生等の制度があり、安心	心して取り組め	ると答えた団員の	割合	/0 %	
④ 上位目的(と	のような	結果に終	詰び付けるのか)			ウ: <u>8 F</u> 4	立成果指標(約	き里の達	成度を表す	指標)	数字は記	入したい
						<u> </u>	名	称	1X /X C X 7	10157	単位	7
災害の減少、地域	住民の安	心感を与	んる			<b>→</b>   ア 消防	団員がいることで安心	にと述ってい	る地区住民の割	台	/0	
			22年度	24年度	25年度	→   ア iii	団員がいることで安心 <b>27年</b>	度	28年	度	最終	年度
(2) 事業費·指標	票の推移	単位	22年度	24年度 (決算見込·実績)	25年度 (予算·目標)	1 1:			3地区住民の割 28年J (計画・E			年度
(2) 事業費・指模	票の推移 重支出金 支出金	単位千円千円	23年度			26年度						
(2) 事業費・指標	票の推移 <mark>支出金</mark> 支出金 也方債	単位 千円 千円 千円	23年度			26年度						
(2) 事業費·指格 年 財 原 間 事 源 原	票の推移 東支出金 支出金 地方債	単位 千円 千円 千円	23年度 (決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	26年度 (次年度計画·目	標)(計画・目	目標)				
(2) 事業費·指標 年 財	票の推移 <mark>支出金</mark> 支出金 也方債	単位 千円 千円 千円	23年度			イ:   26年度   (次年度計画・E						
(2) 事業費・指権 年	票の推移 車支出金 支出金 地方債 ・の他 般財源 計(A) は第人数	単位 千円 千円 千円 千円 千円	23年度 (決算·実績) 578 578 3	(決算見込·実績) 	(予算·目標) 568 568 3	イミ   26年度   (次年度計画・目   5   5	標) (計画·E	568 568 3		1標)		コスト・目標)
(2) 事業 書・指権 年間 トータルコータルコークルコークルコークルコーク (4) 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	票の推移 東支出金 支出金 也方債 の他 般財源 計(A) が事人数 養務時間	単位 千千円円円円 千千円円 千千円円 千千円円	23年度 (決算·実績) 578 578	(決算見込·実績) 	(予算·目標) 	イミ   26年度   (次年度計画・目   5   5	標) (計画·E	1標) 568 568		1標)		コスト・目標)
(2) 事業費・指格 年 財源 国原 事業費 ファイス リカス ア リカス	票の推移 車支出金 支出金 との他 般財源 計 (A) は事人数 総務時間 総務時間 (B)	単 在 T T T T T T T T T T T T T T T T T T	23年度 (決算·実績) 578 578 300 1,189 1,767	(決算見込·実績)  568 568 2 300 1,189 1,757	(予算・目標) 568 568 300 1,189 1,757	イミ   26年度   (次年度計画・目   5   5   5   3   1,1   1,7	標) (計画·E	568 568 568 3 300 1,189 1,757		0	(トータルコ	1スト・目標)
(2) 事業費・指権 年 事業費	票の推移 東支出金 支出金 支出金 も方債 その他 般財源 計(A) は事人数 総事人数 総計(B) (B)	単位 千千二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	23年度 (決算·実績) 578 578 300 1,189	(決算見込·実績)  568 568 2 300 1,189	(予算・目標) 568 568 300 1,189	イミ   26年度   (次年度計画・目   5   5   5   3   1,1   1,7	標) (計画·E	568 568 568 3 300 1,189		0 0	(トータルコ	0
(2) 事業費・指指 年間 財源 内訳 事業費 人件費 人件費	票の推移 東支出金 支出金 も方債 その他 般財源 計(A) は等人数 総等人数 総第(B)	単位 千千二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	23年度 (決算·実績) 578 578 300 1,189 1,767	(決算見込·実績)  568 568 2 300 1,189 1,757	(予算・目標) 568 568 300 1,189 1,757	イミ   26年度 (次年度計画・目   5	標) (計画·E	568 568 568 3 300 1,189 1,757		0 0	(トータルコ	0
(2) 事業 費・指指 事業 財源内訳 事規	票の推移 東支出金 支出金 も方債 ・の他 般財源 ・の他 を解析 (A) は (基本) は (B)	単 一 単 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	23年度 (決算·実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   36.0   6.0	(決算見込・実績)	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0	イ:   26年度   (次年度計画・目   5   5   5   3   1,1   1,7   24	(計画・E 68 68 68 3 00 89 57 0.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0		0 0	(トータルコ	0
(2) 事業費・指権 年 事業費	ででは、 できます できます できます できません できます できます できます できます できます できます できます できます	単 一 単 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	23年度 (決算·実績) 578 578 300 1,189 1,767 240.0	(決算見込・実績)	(予算・目標) 568 568 300 1,189 1,757 240.0	イ:   26年度   (次年度計画・目   5   5   5   3   1,1   1,7   24	機) (計画・E 688 688 3 3 000 889 57	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0		0 0	(トータルコ	0
(2) 事業費・指指 軍事業費 財源内訳 事規規 事規	原の推移 下支出金 地方他 が所他 が解析 (A) が解析 (B) (B)	単位 千円円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	23年度 (決算·実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   6.0   741.0	(決算見込・実績)	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 755.0	イ:   26年度 (次年度計画・E    5     5     3     1,1     1,7     24     3     75	標) (計画・E 68 68 68 3 00 89 57 0.0 6.0 6.0 6.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0		0 0	(トータルコ	0
(2) 事業 費・指指 事業 財源内訳 事規	原の推移金 支出金 を放射に を を を を を を を を を を を を を	単位 千円円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	23年度 (決算·実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   6.0   741.0	(決算見込・実績)  568 568 2 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 745.0	(予算・目標)  568 568 3 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 755.0	イ:   26年度 (次年度計画・E   5   5   5   3   1,1   1,7   24   3	標) (計画・E 68 68 68 3 00 89 57 0.0 6.0 6.0 6.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0		0 0	(トータルコ	0
(2) 事業費・指指 軍事業費 財源内訳 事規規 事規	ででは、 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	単 単 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	23年度 (決算·実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   6.0   741.0	(決算見込・実績)	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 755.0	イ:   26年度 (次年度計画・E   5   5   5   5   1   1   1   1   1   1	標) (計画・E 68 68 68 3 00 89 57 0.0 6.0 6.0 6.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0		0 0	(トータルコ	0
(2) 事業費・指指 「年間トータルコスト」 「本書費」 「本書費」 「本書類」 「本書 「本書」 「本書 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本	原の推移金 を出債 を出債 を設計して、 の財産の財産の財産の財産の対象である。 はできます。 では、 はできます。 では、 はできます。 では、 はできます。 では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	単 千千円円円円	23年度 (決算・実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   36.0   6.0   741.0   100.0   100.0   90.0   対象者・社会状況	(決算見込・実績)  568 568 2 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 745.0 100.0 90.0	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 755.0 100.0 90.0	イ:   26年度 (次年度計画・目   5	標) (計画・E 68 68 68 3 00 89 57 7 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 0.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0		0 0	(トータルコ	0
(2) 事業 事業費・指指 国原 事業費 人件費 人件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大	原の推移金 を出債 を出債 を設計して、 の財産の財産の財産の財産の対象である。 はできます。 では、 はできます。 では、 はできます。 では、 はできます。 では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	単 千千円円円円	23年度 (決算·実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   6.0   741.0   100.0   100.0	(決算見込・実績)  568 568 2 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 745.0 100.0 90.0	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 755.0 100.0 90.0	イ:   26年度 (次年度計画・目   5	標) (計画・E 68 68 68 3 00 89 57 7 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 0.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0		0 0	(トータルコ	0
(2) 事業費・指指 	原の推移 を出金 を出金 を設計 (A) が表計 (B) (B) では、いつ頃では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	単 年 日 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	23年度 (決算・実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   36.0   6.0   741.0   100.0   100.0   90.0   対象者・社会状況	(決算見込・実績)  568 568 2 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 745.0 100.0 100.0 90.0 2等)の変化、市日平成15年に南アル	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 755.0 100.0 100.0 90.0 <b>最高見等</b> プス市が合併し、そ	イ:   26年度 (次年度計画・目   5   5   5   5   5   5   5   1   1   1	標) (計画・E 68 68 68 3 00 89 57 0.0 6.0 6.0 6.0 0.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0	(計画・目		(\( - \frac{\pi}{2} \)	0
(2) 事業 事業費・指指 国原 事業費 人件費 人件費 人件費 大件件 大体 大体 大体 大体 大体 大体 大体 大体 大体 大体	原の推移金 を出債 を出債 を設計債 を設計債 を設計した。 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 の財は、 のり。	単 千千千八 単 千千千八 ボ 千千千八 ボ 千千千八 ボ 千千千八 ボ 千千千八 ボ 十千千八 ボ 十千千八 ボ 十千千八 ボ 十千千八 ボ 十千千八 ボ 十千千八 ボ 十千千八 ボ 十千千八 ボ 十十十 ボ ・	23年度 (決算・実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   36.0   6.0   741.0   100.0   100.0   90.0   対象者・社会状況   幸で開始されたの   寺または5年前と比後の予測は?	(決算見込・実績)  568 568 2 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 745.0 100.0 100.0 90.0  PR の変化、市員 平成15年に南アル 741人の団員が、注	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 755.0 100.0 100.0 90.0  R意見等 プス市が合併し、そ	イ:   26年度 (次年度計画・E    5   5   5   75   3   1,1   1,7   24   33   75   10   10   10   4   大小に伴い開始	標) (計画・E 68 68 68 3 3 00 89 57 0.0 6.0 6.0 0.0 0.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0	(計画・目		(\( - \frac{\pi}{2} \)	0
(2) 事業 事業費・指指 国順 事業費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件	原の推出金 を出て、一般計(なおい)を をはいりいことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	単千千千八時千千八時千千八月月日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	23年度 (決算・実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   6.0   741.0   100.0   100.0   100.0   対象者・社会状況   章で開始されたの   章または5年前と比後の予測は?   事業対象者、議会	(決算見込・実績)  568 568 2 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 745.0 100.0 100.0 90.0  PR の変化、市員 平成15年に南アル 741人の団員が、注	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 755.0 100.0 100.0 90.0  R意見等 プス市が合併し、そ	イ:   26年度 (次年度計画・E    5   5   5   75   3   1,1   1,7   24   33   75   10   10   10   4   大小に伴い開始	標) (計画・E 68 68 68 3 3 00 89 57 0.0 6.0 6.0 0.0 0.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0	(計画・目		(\( - \frac{\pi}{2} \)	0
(2) 事業 事業費・指指 国原 財源内訳 事規延人(A) + 活動指標 対象 に の 事務 業化に対 の で の で の で の で の で で で で で で で で で で	標の推出金 大田で、一般計(A) 大田で、一般計(A) 大田で、一般計(A) 大田で、一般計(A) 大田で、一般計(A) 大田で、一般計(B) 「一点) 「一。 「一) 「一) 「一) 「一) 「一) 「一) 「一) 「一)	単 千千千八 時千千八 時千千千八 時千千千八 時千千千八 けん	23年度 (決算・実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   36.0   6.0   741.0   100.0   100.0   90.0   対象者・社会状況   幸で開始されたの   寺または5年前と比後の予測は?	(決算見込・実績)  568 568 2 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 745.0 100.0 100.0 90.0  PR の変化、市員 平成15年に南アル 741人の団員が、注	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 755.0 100.0 100.0 90.0  R意見等 プス市が合併し、そ	イ:   26年度 (次年度計画・E    5   5   5   75   3   1,1   1,7   24   33   75   10   10   10   4   大小に伴い開始	標) (計画・E 68 68 68 3 3 00 89 57 0.0 6.0 6.0 0.0 0.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0	(計画・目		(\( - \frac{\pi}{2} \)	0
(2) 事業 事業費・指指 国順 事業費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件	原 す 支出 佐 の 財 は と と の 財 は 出 金 と と の 財 は と と の 財 は 不 は と と の 財 は 不 は に 意 し れ は で ま な と も の 財 は れ か に 意 し れ は で ま な と も の 関 ・	世 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	23年度 (決算・実績)   578   578   300   1,189   1,767   240.0   6.0   741.0   100.0   100.0   100.0   対象者・社会状況   章で開始されたの   章または5年前と比後の予測は?   事業対象者、議会	(決算見込・実績)  568 568 2 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 745.0 100.0 100.0 90.0  学の変化、市長 平成15年に南アル 741人の団員が、河	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 755.0 100.0 100.0 90.0  R意見等 プス市が合併し、そ	イ:   26年度 (次年度計画・E    5   5   5   3   1,1   1,7   24   3   75   10   10   10   9   たれに伴い開始	標) (計画・E 68 68 68 3 00 89 57 0.0 6.0 6.0 6.0 0.0 0.0 0.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0 100.0 90.0	「計画・目	0 0 0 0	(\( - \frac{\pi}{2} \)	0
(2) 事業費・指指 	標の推出金 大田での財子(本語) 「大田での財子)(本語) 「大田での財子)(本語)) 「大田でのまた。 「大田でのま	単 千千千千八時千千八人人団人 一	23年度 (決算・実績)   578   578   578   300   1,189   1,767   240.0   100.0   100.0   100.0   100.0   90.0   対象者・社会状が障で開始されたの   ままたは5年前と比後の予測は?   事業対象者、議会 られているか?	(決算見込・実績)  568 568 2 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 745.0 100.0 100.0 90.0  学の変化、市長 平成15年に南アル 741人の団員が、河	(予算・目標)  568 568 300 1,189 1,757 240.0 36.0 6.0 755.0 100.0 100.0 90.0  R意見等 プス市が合併し、そ	イ:   26年度 (次年度計画・目   5   5   5   3   1,1   1,7   24   3   75   10   10   10   9   たれに伴い開始	標) (計画・E 68 68 68 3 00 89 57 57 0.0 6.0 6.0 6.0 6.0 0.0 0.0 0.0 0.0	568 568 568 3 300 1,189 1,757 24.0 36.0 60.0 755.0 100.0 90.0	「計画・目	0 0 0 0	(\( - \frac{\pi}{2} \)	0

	事務事業名	消	防協会支部運営費交付	寸金事業	所属部	消防本部	所属課	消防調	果		
2	評価(Check1)	担当者による	<b>事後評価</b> (複数年度								
	①政策体系との整合 この事務事業の目的は 施策に結びつき、貢献 が上位目的に結びつい	は市の政策体系の しているか?意図	結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)·4今後の方向性に反映								
的妥	② 公共関与の妥当この事務事業を税金をわなければならないの	投入して市が行	<ul> <li>見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映</li> <li>✓ 妥当である ⇒【理由↓】</li> <li>地域消防は、消防団が担っている。</li> </ul>								
当性評	民間やNPO、市民協会 は可能か?	動に移行すること	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 民間・NPO 市民協働								
価	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続 していくことは妥当か?目的や事業の必 要性を見直す余地はあるか?		□ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)·4今後の方向性に反映 □ 適切である ⇒【理由↓】 □ 日本消防協会→山梨県消防協会→消防協会南アルプス支部と組織化されている。								
	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の ことはできるか?できた 因でできないのか?	成果を向上させる	かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映     ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映     向上余地がない ⇒【理由↓】     市内の団員が互いに、競争意識・連立感を持ち消防団活動を実施し、地域防災活動に反映している。								
有効性評価	⑤ 類似事業との統廃 類似した目的を持つ事 るか?類似事務事業だ 事務事業との統合や過 きるか?	耳務事業が他にあ がある場合、その									
	⑥ 休止・廃止した時止・廃止の可能性この事務事業を休止・はあるか?また成果が廃止することはできる?	廃止した場合影響 いら考えて、休止・	<ul><li>▶響なし</li><li>影響あり ⇒【理由</li></ul>		⊽	休止・廃止ができる 休止・廃止できない 活動に影響がありは	、 ⇒【理由↓】				
効率性評価	⑦事業費の削減余成果を下げずに事業費きないか?(仕様やエの協力など) ⑧ 人件費の削減余成果を下げず人件費をか?(事業のやり方の時間の削減や臨時職員	地 ・ (コスト)を削減で 法の適正化、住民 ・ 地 ・ 削減できない 見直しによる業務 員対応や外部委託	□ 削減余地がある □ 削減余地がない 業務内容から、単なる事	⇒【理由·具体家 ⇒【理由↓】	oれば、削減も考えら <b>ミ↓】</b> ⇒ 3	評価(Check2)・	は南アルプス市全体	<b>本で運営され</b>	ており削		
公平性評価	による削減はできるか ③ 受益機会・受益者負 事務事業の内容が一部でいないか?受益者負 はないか?公平公正が	負担の適正化余地 部の受益者に偏っ 負担を見直す必要	□ 見直し余地がある ■ 公平・公正である 南アルプス市からの交付	⇒【理由・具体3 ⇒【理由↓】 †金及び市消防団負担		評価(Check2)・		に反映			
3	評価(Check2)	担当課管理者	・ による評価結果と総	 }括							
<u>(1)</u>	1次評価者としての ① 目的妥当性 ☑ ② 有効性 ☑ ③ 効率性 ☑	<mark>評価結果</mark> 適切 □ 見直し 適切 □ 見直し	(2) 1次	<b>評価の総括(事務</b> : )交流及び協力体制の			<u>-こと、課題、今後の</u>	の方向性等に	こついて)		
4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN) (1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 (3) 改革・改善による方向性											
			10) 結果から定める)・ □ 事業統会・連集/	**複数選択可 (有効性⑤の結果)「	公平性改善(公平		改革・改善によ <mark>。</mark>	6万同性			
☐ ☐ (2	<ul> <li>□ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)</li> <li>□ 事業統合・連携(有効性⑤の結果)</li> <li>□ 成果向上(有効性④の結果)</li> <li>□ 成果向上(有効性④の結果)</li> <li>□ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)</li> <li>□ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)</li> <li>(2)改革改善案について</li> <li>①現状維持。</li> </ul>						コスト水準 削減 維持 増加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
23							果 維 「 」		入不要		
(D)	) <b>改革改善を実現す</b> 現状維持のため、必要な		き課題とその解決策			(5)	)事務事業優先原	<b>度評価結果</b>			
② ③						成	果優先度評価結	果	12)		

コスト削減優先度評価結果

6